

9月 定例会

9月1日(火)～9月24日(木)

塩尻市では
こんなことが決まりました。

審査結果の一覧は12ページに掲載してあります。
提出議案の概要は塩尻市議会ホームページで確認できます。



こんなことを
審議し、決めました

市長提出	議員提出	請願
37件	3件	2件



9月定例会 ピックアップ pick up

《議案第20号》

令和2年度塩尻市一般会計補正予算(第6号)について (総務生活委員会付託分)

全会一致
可決

官民連携推進事業(奈良井宿空き家再生プロジェクト、塩尻型Maas構築事業等)について

◆補正予算の内容

塩尻市が民間企業と共に取り組んでいる「奈良井宿空き家再生プロジェクト」、「塩尻型Maas構築事業」等に関して、事業を更に推進するため1億3000万円を増額補正(酒蔵整備負担金8000万円、地域の魅力発信イベント負担金1500万円、塩尻型Maas構築事業負担金3500万円)

塩尻市が民間企業と連携協定を締結して取り組んでいる事業について、コロナ禍における新生活様式への適用やアフターコロナを見据えた事業の強化、事業の更なる加速を図るため、地方創生臨時交付金を活用して事業の拡充を行う。

奈良井宿空き家再生プロジェクトは、竹中工務店との連携協定に基づいて旧酒蔵の利活用に取り組みものである。地元区との意見交換において、酒造り機能復活の強い要望があったため、業界各社との対話を行っているところであり、再整備に向けた予算を先行的に確保する。

食を通じた地域の魅力発信イベントは、食を基軸とした地域資源の発掘や新たな付加価値の創出、地域の情報発信の強化等を目指し、令和3年度のイベント開催に向けた準備を

行うもので、実施体制構築等に取り組む。

塩尻型Maas構築事業は、包括連携協定に基づく自動運転実証事業をさらに発展させ、A-活用型オンデマンドバスと自動運転を組み合わせた新たな地域交通体系を構築することを旨とし、社会実装に向けた実証実験や体制構築に取り組む。

◆委員会Q&A

Q 酒蔵の発想はどこから出たのか。
A プロジェクト当初より酒蔵整備を模索していたが、6月の奈良井区説明会時に酒蔵復活の要望を受け、本格的に酒造りの担い手を探したところ、候補者が確保できたところである。しかし、詳細な事項の合意にはまだ至っていない。

Q 食を通じた地域の魅力発信イベントの目的と内容は。
A 食を中心に地域全体の魅力を発信するイベントを構想しており、新しい食や価値の提供を目指して今年度から時間をかけて準備を行う。関係者が約半年前から地元に入り、食や工芸品、特産品等地域資源の発掘、磨き上げに取り組み、イベント時にお披露目する。最終的には地域全体の資産として定着を図りたい。